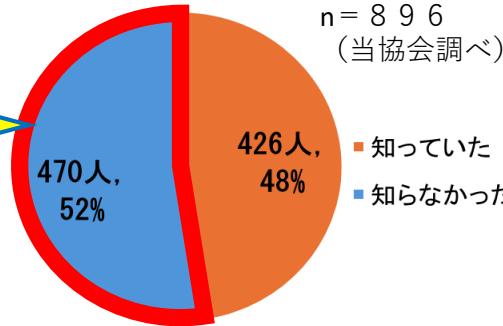


AIで伊勢湾台風を次世代へ

中部地域づくり協会

伊勢湾台風から長い年月が経過、当時の記憶を伝承できる方々も
高齢化により減少、一方、近年の水害は激甚化

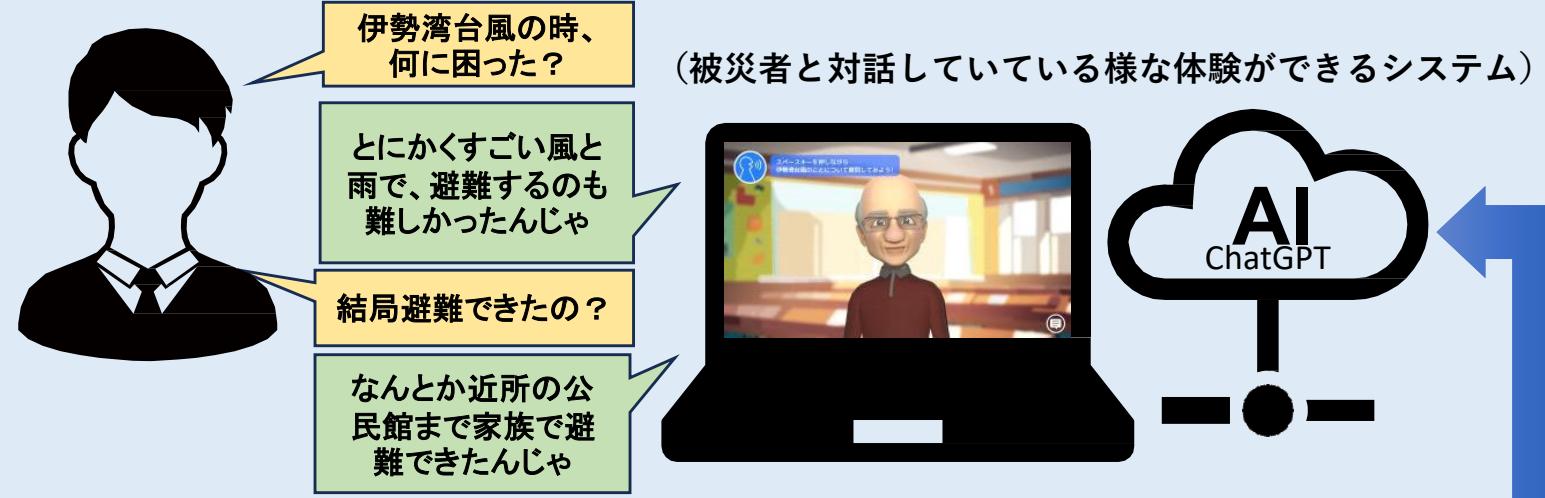
伊勢湾台風を知っていましたか？



【過去の災害を如何にして次世代に伝えるか？】



人工知能 ChatGPTを活用したAI語り部により記憶・記録を伝承

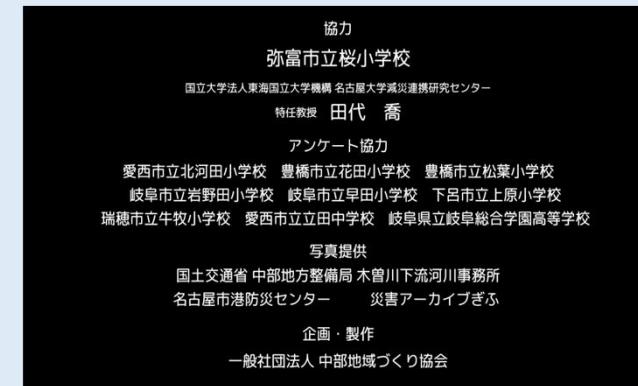


想定される質問に対して、伊勢湾台風の基本事項や体験談などを学習

- 正確性・共感性の観点から、
 - * 約560名の児童・生徒から約870個の質問を聴取、文献や記念誌などをもとに回答を作成し学習
 - * 試行版を小学校の先生・児童に体験して貰い、意見をもとに制作
 - * 体験者の地域に応じた質問に対応できるよう地域設定を、愛知県、岐阜県、三重県、指定無しから選定できる
 - * 体験者の対象に合わせたレベルの回答とするため、小学生、中学生、高校生以上から選定できる
 - * システムは、リーガルチェック（法的リスクの確認）を実施
- ◆ 小・中学生を対象に、防災講座・防災イベントなどで活用、中部インフラDXセンター、名古屋市港防災センター、名古屋大学減災館で常設展示中
- ◆ 外国人や視覚障がい者への啓発、高齢化により伝承が困難な他の災害にも適用可能なシステム



(伊勢湾台風AI語り部システムのスタート画面)



(伊勢湾台風AI語り部システムのエンディング画面)

防災講座・防災イベントでの活用

中部地域づくり協会



児童・生徒の感想

- インターネットを使って調べても分かるけれど、より分かりやすくて良い。
- 言ったことをすぐに聞き取って答えてくれてすごいと思った。
- 本物のおじいさんと話をしているみたいで、AIってすごいなと思った。
- 実際の人と話すよりも、AIのおじいさんの方が話しやすい。

先生の感想

- 今の子供たちは人と話すことが苦手でも、PCなど画面上の相手だと話しやすいと思う。
- 子供たちが疑問を投げかけながら当時の様子を主体的に学べ、防災への意識を高めることができた。
- 次世代に伝えていくためにも必要な取組だと思う。